KIORITZ

共立エンジンドリル

取 扱 説 明 書

型 式

EDR240

⚠ 警告

ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
取扱説明書の指示内容を守ってください。
守らなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れがあります。

重要なお知らせ

製品をご使用になる前に、取扱説明書を必ずお読みください。

●製品の使用目的

・この製品は２サイクルエンジンドリルです。木材、地面、氷穴をあけるために使用してください。

●製品の使用者について

・この製品は取扱説明書をよく読んで十分に熟知した人が使用してください。
・取扱説明書をよく読んでいない人、風邪や疲労など体調のよくない人、16歳未満の人は製品を使用しないでください。

●取扱説明書について

・本書には、製品の組み立てや操作、点検・整備に必要な事項が書かれています。よく読んで理解してください。
・本書はいつでも読めるように必ず保管してください。
・本書が損傷により読めなくなったり、紛失した場合は、販売店から新しく取扱説明書を購入してください。
・単位はＳＩ単位（国際単位系）を使用しています。（　）内は参考値ですので若干の換算誤差がある場合もあります。

●製品の貸与、譲渡

・本書で解説している製品を貸与する場合、借りて作業をする人に、この取扱説明書とともに製品を貸与してください。製品を譲渡される場合は、本書を製品に添付してお渡しください。

●保証書

・この製品には保証書が同梱されています。
・使用目的以外の作業による製品の故障、あるいは改造による故障の場合は、保証の対象外になりますのでご注意ください。
・詳しくは保証書をお読みください。

●お問い合わせ先

・この製品についての内容や消耗品のご購入、修理などのご用命はお買い求めいただいた販売店にお問い合わせください。

●おことわり

・本書の内容は、製品の改良のため予告なしに変更することがあります。また、使用している図は説明をわかりやすくするため、現品と異なる場合があります。
・本製品は一部部品の組み立て作業が必要となります。
・ご不明なことやお気付きのことがございましたら販売店にご相談ください。

目　　次

⚠ **安全にご使用いただくために 3**
■ 警告表示 3
■ その他の表示 3
■ シンボルマーク 3
■ 警告表示ラベルの貼り付け位置 4
■ 燃料の取り扱い 5
■ エンジンの取り扱い 6
■ 製品の取り扱い 7
▲ 一般的なご注意 7
▲ 作業上のご注意 7
▲ 保護具 9
▲ ビットに関するご注意 10
１．梱包部品一覧 11
２．各部の名称と機能 12
３．作業前の準備 13
3-1　組み立て 13
3-2　ビットの取り付け 13
3-3　燃料の準備 15
４．エンジンの運転 17
4-1　エンジンの始動 17
4-2　エンジンの停止 18
５．穴あけ作業 19
5-1　作業の基本 19
5-2　回転レバー 20
６．点検・整備 21
6-1　点検・整備の目安 21
6-2　作業前または作業後の点検 21
6-3　ビットの交換 23
6-4　25時間毎点検 24
6-5　チャックの交換 25
6-6　故障診断表 26
6-7　長期保管（30日以上） 27
７．仕様 28

⚠ 安全にご使用いただくために

製品をご使用になる前に、この章を必ずお読みください。

・ここに記載されている「注意事項」は、安全に関する重要な項目です。必ず守ってください。
・本文の中にも重要な「注意事項」を記載していますので、必ずお読みください。
☆印に続く文章は、「注意事項」を守らないと起こり得る結果を示しています。

■ 警告表示

本書や製品では作業者などが人身事故を起こす危険性のある事柄を、下記の警告表示で示しています。安全作業のためによく読んで、必ず守ってください。

⚠ 危　険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものです。

⚠ 警　告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があるものです。

⚠ 注　意

その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるものです。

■ その他の表示

本書では警告表示以外に下記の表示を使って説明しています。

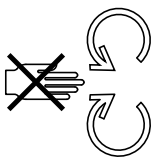
丸に左斜線の入ったこの記号は、表示されているものが全て禁止されていることを表わします。

重　要

重要として囲まれた文章は、この取扱説明書で説明されている製品の使用、点検、保守、保管に関する重要な注意事項です。

■ シンボルマーク

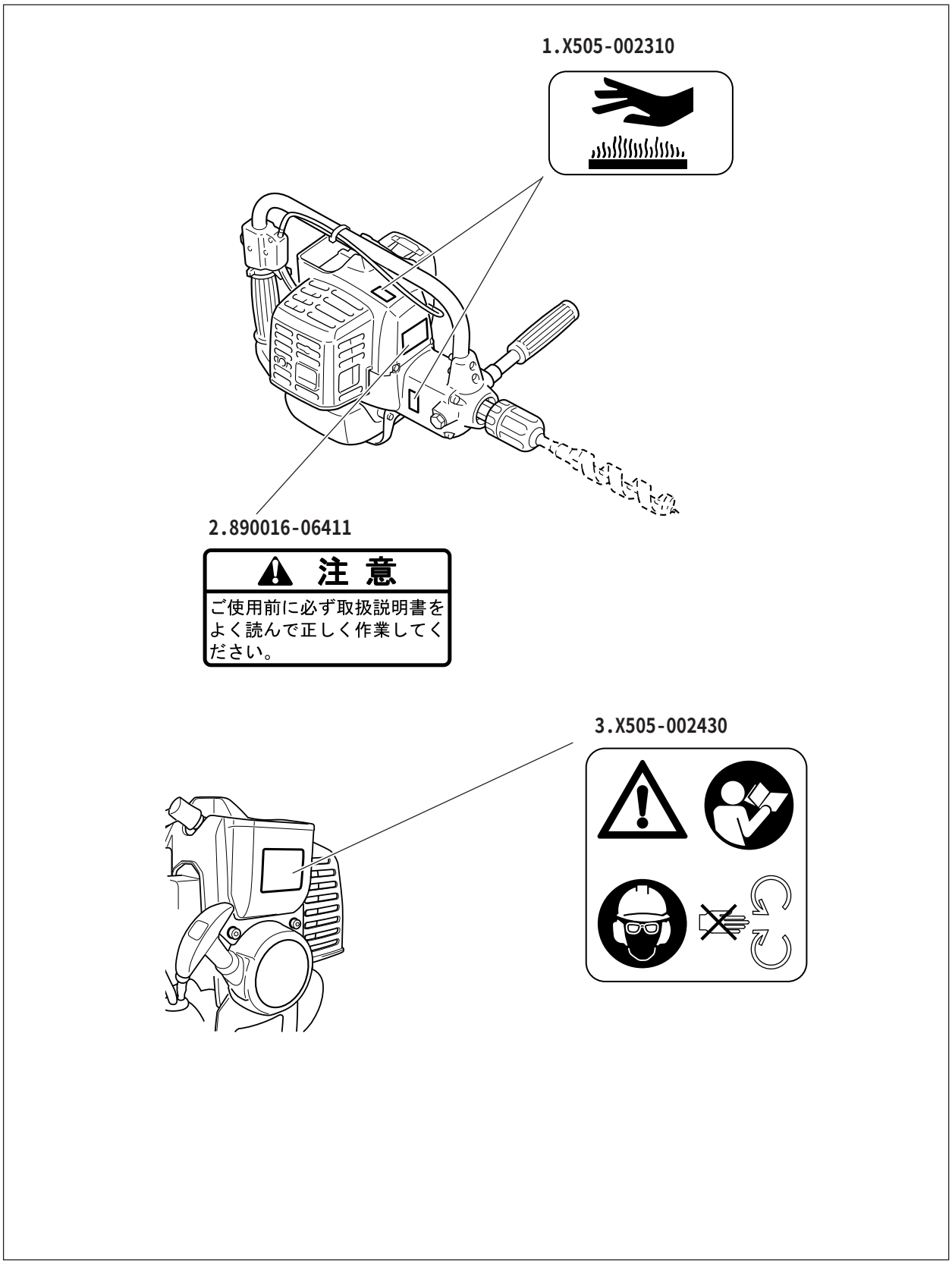
本書と製品ではシンボルマークを使って説明しています。各シンボルマークの意味を十分に理解してください。

シンボルマーク	シンボルマークの意味	シンボルマーク	シンボルマークの意味
	ご使用前に取扱説明書を読み、正しく作業すること		電気ショックに注意すること
	作業中は、保護具を必ず着用すること		高温部に注意すること
	製品を通気の悪い場所では使用しないこと		回転部に触れないこと
	火災に注意すること		混合燃料を使用すること

⚠ 安全にご使用いただくために

■ 警告表示ラベルの貼り付け位置

・本書で解説されている製品には、下表の「警告表示」のラベルが貼ってあります。ご使用前にラベルの意味を理解してください。
・ラベルが摩滅したり破損して内容が確認できなくなった場合や、はがれて紛失した場合は、販売店から新しくラベルを購入し、下に指示してある箇所に貼り、常にラベルが確認できる状態を維持してください。



⚠ 安全にご使用いただくために

■ 燃料の取り扱い

燃料は「混合燃料」です。

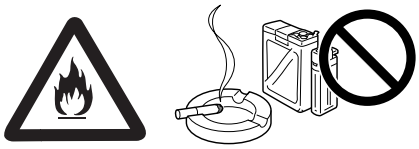
⚠ 危　険

● 燃料給油時は火気厳禁

燃料は非常に引火しやすいので、取り扱いを誤ると火災の危険があります。次の項目を必ず守ってください。

- **燃料給油中にタバコを吸ったり、火花を近づけない**
- **エンジンが熱いときやエンジン運転中は、燃料補給をしない**

☆燃料に引火して火災を起こしたり、火傷を負うことになります。



⚠ 警　告

● 静電気は火災の原因

ガソリンは容器内部で揺られると、静電気を帯びやすい性質を持っています。給油時の放電による火災を防ぐため、次の項目を守ってください。

- **運搬に用いた鋼板製のガソリン携行缶は、地面に置いて静電気を逃がす。**
- **ポリミックス（別売品）で燃料を混合した後は、数分間静置して静電気のレベルを下げる。**
- **作業者は、給油前に手のひらを地面や金属などに押し当てて、自身の静電気を逃がす。**
- **製品は、ストップスイッチが停止位置のまま十分に冷えた状態になるまで地面に置き、静電気のレベルを下げる。**
- **燃料給油時に、金属製の漏斗（ろうと）を使用しない。**
- **湿度の低いときは、燃料容器や製品の燃料タンクを乾いた布で拭かない。**

☆静電気が燃料に放電して、火災の原因となります。

● こぼれた燃料は火災の原因

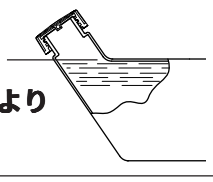
燃料給油時は、次の項目を守ってください。

- **燃料は燃料タンクの口元まで入れずに、規定レベル（規定レベル表示のないものは、燃料タンクの肩口）以下に補給**
- **燃料を入れすぎてあふれたり、こぼれた場合はこぼれた燃料を拭き取る**
- **燃料を給油した後は燃料タンクキャップを確実に締め付ける**

☆こぼれた燃料に引火して火災や火傷の原因となります。

規定レベル：
燃料タンクの肩口

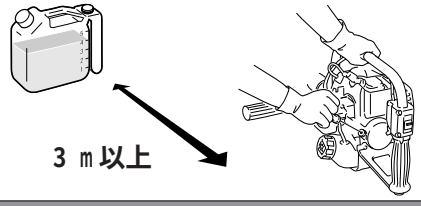
燃料は燃料タンクの肩口より上に補給しないこと



● 燃料補給地でのエンジン始動禁止

- **燃料を補給した場所でエンジンを始動しないでください。エンジンを始動する前に、燃料を補給した場所から3 m以上移動してください。**

☆燃料補給時の漏れた燃料に引火し火災の原因となります。



● 燃料漏れは火災の原因

- **燃料補給後に、必ず燃料パイプ、燃料系グロメット、燃料タンクキャップ周辺から燃料の漏れやにじみがないかを確認してください。**
- **燃料の漏れ、にじみがある場合は直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。**

☆燃料漏れがあった場合、火災の原因となります。



● ポリ容器での燃料運搬・保管は禁止

燃料はできるだけ使い切ってください。燃料を運搬あるいは保管する場合は、次の項目を守ってください。

- **鋼板製のガソリン携行缶で運搬・保管**
- **保管期間は1ヶ月程度**
- **ポリ容器やペットボトルに燃料を入れて運搬・保管することは禁止**

☆ポリ容器での運搬や保管は法律で禁止されており、火災の原因となります。

⚠ 安全にご使用いただくために

■ エンジンの取り扱い

⚠ 警　告

●エンジン始動時

エンジンを始動するときは、特に次の項目を守ってください。

- **製品を平坦で通気の良い、可燃物のない場所に置く**
- **燃料が漏れていないか確認**

☆火災の原因になります。

- **ボルトやナット類に緩みがないことを確認**
- **欠けたり摩耗したビットは使用禁止**
- **周囲は広くとり、人や動物を近づけない**
- **ビットの地面や障害物への接触禁止**
- **スロットルレバーは低速位置で始動**
- **製品を地面にしっかりと押え始動操作**
- **手で持ったまま空中での始動は禁止**

☆始動前の注意を怠ると、事故や重傷を負う原因となります。

●始動後は異常振動・異常音の確認

- **エンジンを始動したら、異常振動･異常音が発生していないか確認してください。**
  異常振動･異常音がある場合は製品を使用しないでください。販売店に修理を依頼してください。

☆部品の脱落、飛散などの事故により、重傷を負う原因となります。

●運転中は高温部、高電圧部に接触禁止

製品の運転中および停止後しばらくの間は、次の高温部や高電圧部に触らないでください。

- **マフラ、スパークプラグ、ギヤケースなどの高温部**

☆高温部に触れると火傷します。

- **スパークプラグ、プラグコードなどの高電圧部**

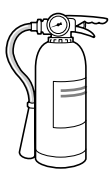
☆運転中に高電圧部に触れると感電します。



●発火・発煙には、まず安全確保

- **エンジンから発火または排気口以外から発煙したら、まず身体から製品を離し、身体の安全を確保してください。周囲に類焼しないようにシャベルで砂などをかけるか、または消火器で消火してください。**

☆あわてて対処しようとすると、火災やその他の傷害の拡大につながります。







●排気ガスは有毒

- **エンジンの排気ガスには、有毒なガスが含まれています。**
  屋内など通気の悪い場所で製品を運転しないでください。

☆排気ガスによる中毒事故の原因となります。



●点検・整備時はエンジン停止

作業後に製品の点検･整備を行なう場合は次の項目を守ってください。

- **エンジンを停止し、エンジンが冷えてから点検・整備**

☆火傷を負う原因となります。

- **スパークプラグキャップを外して点検・整備**

☆突然の始動により事故を起こすことがあります。





●スパークプラグの点検

スパークプラグの点検では次の項目を守ってください。

- **電極やターミナルの摩耗、ガイシに亀裂がある場合は新品と交換**
- **スパークプラグの火花を確認する発火テストは販売店に依頼**
- **シリンダのプラグ孔付近での発火テストは禁止**
- **燃料がこぼれたり、燃えやすいガスがある場所での発火テストは禁止**
- **スパークプラグの金属部に触れることは禁止**

☆引火による火災および感電事故の原因となります。





⚠ 安全にご使用いただくために

■ 製品の取り扱い

▲ 一般的なご注意

⚠ 警　告

●取扱説明書

- **ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。**

☆事故や重傷を負う原因となります。



●製品の使用目的以外の使用禁止

- **製品を取扱説明書に記載されている使用目的以外の用途に使用しないでください。**

☆事故や重傷を負う原因となります。

●製品の改造禁止

- **製品を改造しないでください。**

☆事故や重傷を負う原因となります。
製品の改造が原因で故障した場合は、メーカー保証の対象外となります。

●点検・整備をしていない製品の使用禁止

- **点検・整備をしていない製品を使用しないでください。定期的な点検・整備を必ず行なってください。**

☆事故や重傷を負う原因となります。

●製品の貸与、譲渡

- **製品を貸すときは借りる人に、取扱説明書と共に製品を貸してください。**
- **製品を譲る場合は取扱説明書を添付して製品を渡してください。**

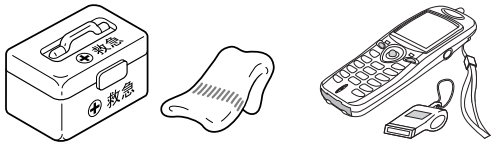
☆事故や重傷を負う原因となります。

●ケガへの備え

万一の事故やケガへの準備をしてください。

- **救急箱（応急手当用）**
- **タオルやてぬぐい（止血用）**
- **呼子や携帯電話（外部との連絡用）**

☆緊急の応急手当や外部への連絡ができず、症状が悪化する恐れがあります。



▲ 作業上のご注意

⚠ 危　険

●低速運転でビットが回る製品は使用禁止

- **スロットルレバーが低速位置で運転しているときに、ビットが回る状態のまま製品を使用しないでください。**

☆事故や重傷を負うことになります。

●半径 15 m の範囲は危険区域

製品を中心に半径15 mの範囲は危険区域です。作業中は次の項目を必ず守ってください。

- **危険区域へ他の人や子供、ペットなどを立入らせない**
- **危険区域に他の人が入った場合は、エンジンを停止し、ビットの回転を停止**
- **作業者に近づく場合は、危険区域の外から小枝を投げるなどの合図をして作業者に知らせ、エンジンの停止と、ビットの回転の停止を確認**
- **二人以上で作業する場合は、お互いに合図のしかたを決めて 15 m以上離れて作業**

☆ビットとの接触により、失明や死亡事故を起こすことになります。

⚠ 安全にご使用いただくために

■ 製品の取り扱い （続き）

▲ 作業上のご注意 （続き）

⚠ 警　告

● 製品の使用者

次の項目に該当する人は製品を使用しないでください。



- **疲労している人**
- **酒を飲んでいる人**
- **薬物を服用している人**
- **妊娠している人**
- **体調不良の人**
- **取扱説明書を読んでいない人**
- **16 歳未満の人**

☆事故の原因となります。

● 製品の使用環境・作業環境

次のような場合は製品を使用しないでください。

- **降雨時や落雷の恐れがあるとき**
- **急傾斜地や足元が不安定で滑りやすい場所**
- **夜間や視界が悪い場所**

☆転倒や滑落、誤った操作などにより重傷を負う原因となります。

● 健康管理

- **健康のために、休憩を取りながら余裕を持って作業してください。**
- **厚生労働省の通達は次のとおりです。**
  １日の使用時間：２時間以内
  １回の連続作業時間：３０分以内
  １回の連続作業後の休止時間：５分以上

☆健康障害を受ける恐れがあります。

● レイノー現象の症状に注意

- **指に不快感、赤み、腫れがあり、白くなったり感覚がなくなったことのある方は、製品を使用する前に医師に相談してください。**

☆指にレイノー現象と呼ばれる症状が現れることがあります。



● 作業前に異物・障害物を除去

- **作業前に、これから作業する場所をよく確認して、ビット周辺にからまりそうなヒモや針金などは取り除いてください。**

☆製品にからみついた針金などが跳ね返り、事故や重傷を負う原因となります。

● 移動時はエンジン停止

次のような移動時はエンジンを停止し、ビットの回転の停止を確認後に、ビットを外しマフラを身体から離してください。

- **作業場へ移動するとき**
- **作業中に他の場所へ移動するとき**
- **作業場から帰るとき**

☆ 火傷や重傷を負う原因となります。

- **車で運搬する場合は燃料タンクをカラにして、製品が動かないようにしっかり固定してください。**

☆燃料を入れたまま車で移動すると、火災の原因となります。



● 異常時は直ちにエンジン停止

次のような場合は、直ちにエンジンを停止し、ビットの停止を確認後、各部を点検してください。破損した部品は交換してください。

- **作業中にビットが岩、杭などの障害物に当たった場合**
- **製品が突然、異常な振動をする場合**

☆損傷した製品をそのまま使用すると、事故や重傷を負う原因となります。

⚠ 安全にご使用いただくために

■ 製品の取り扱い （続き）

▲ 保護具

⚠ 警　告

● 保護具の着用

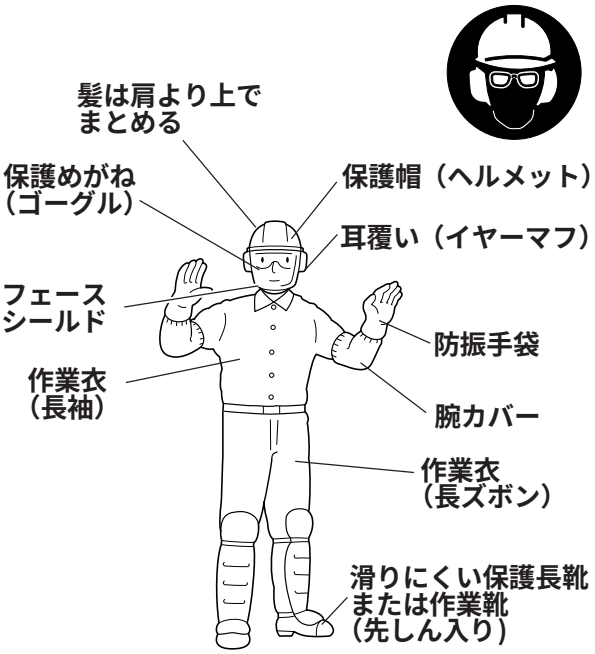
作業を行なう場合は、必ず下記の保護具を着用してください。ネクタイ、装身具は着用しないでください。

- **保護帽(ヘルメット)：**頭部の保護
- **耳覆い(イヤーマフ）や耳栓：**聴力の保護
- **保護めがね(ゴーグル)：**目の保護
  （めがねを使用していても、そのめがねの上から保護めがねを着用してください）
- **フェースシールド：**顔の保護
- **防振手袋：**寒さや振動から手を保護
- **身体に合った作業衣(長袖･長ズボン):**身体の保護
  （ボタン、ファスナをきちんとして、作業衣のすそは長ズボンに入れてください）
- **滑りにくい丈夫な保護長靴(先しん入り）や滑りにくい作業靴(先しん入り)：**足の保護

☆視覚障害、聴覚障害、重傷などを負う原因となります。

必要に応じて下記の保護具をご使用ください。

- **防じんマスク：**呼吸器の保護
- **防蜂網：**蜂の襲来対策



⚠ 安全にご使用いただくために

■ 製品の取り扱い （続き）

▲ ビットに関するご注意

⚠ 警　告

●ビットは作業内容に応じて選択

- **土、氷穴あけ用ビットはやまびこ純正部品を使用してください。(28ページ参照)**
- **木工用ビットは市販品（φ13 ㎜まで）を使用してください。**
- **ビットは作業内容に応じて選択してください。**

☆ビットの損傷や飛散により、事故や重傷を負う原因となります。

●ビットは確実に締め付ける

ビットの組み付けや交換の際は、組み付け後は、緩みやガタがないかを確認して、確実に締め付けてください。

●始動前のビットの点検

ビットに次のような異常がないか、よく点検してください。異常がある場合は大変危険なので新品に交換してください。

- **ビットの欠け、摩耗**
- **ビットの振れや緩み、ガタ**

☆ビットの損傷により、事故や重傷を負う原因となります。

●始動時の注意

- **ビットが地面や障害物に接触していないこと**
- **空中での始動は禁止**

☆ビットが地面などに触れていると回転により跳ね回り、事故や重傷を負う原因となります。

●作業中はビットを硬いものに当てない

- **作業中にビットを石や金属、コンクリートなどの硬いものに接触させないでください。**
- **ビットが障害物に当たった場合は、直ちにエンジンを停止し、ビットの回転が止まったことを確認してから、ビットに損傷がないかを点検してください。**
- **異常がある場合はそのまま使用せずに必ず交換してください。**

☆ビットの損傷により、事故や重傷を負う原因となります。

●ビットの点検などはエンジン停止状態で

次のようにビットまたはビットの付近に触れる場合は、エンジンの運転を停止して、ビットの回転が止まったことを確認した後に行なってください。ストップスイッチが停止位置であることを確認し、厚手の手袋を着用して作業してください。ビットを素手で触らないでください。

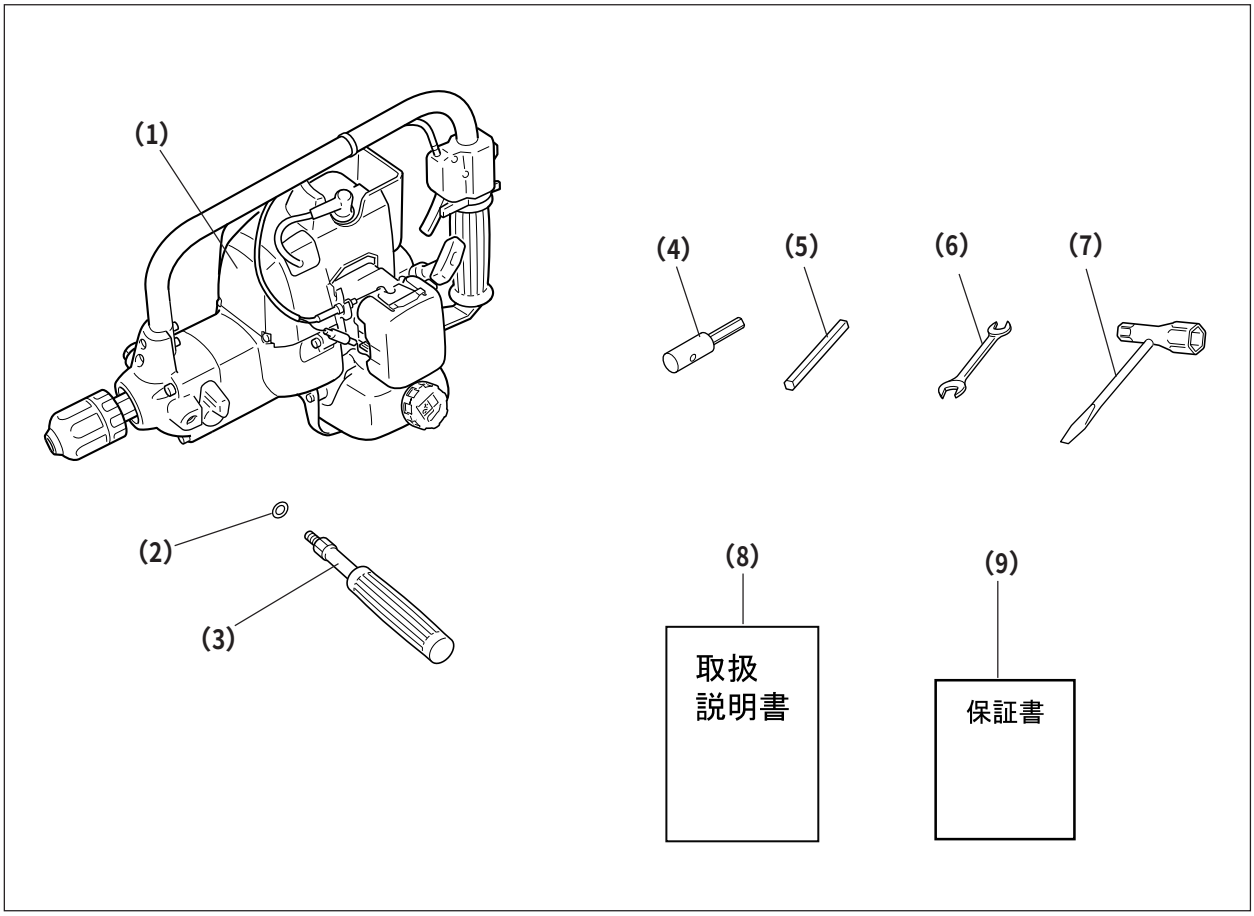
- **ビットの点検、交換時**
- **ビットやビットの周辺にからまった草やヒモなどを取り除くとき**

☆ビットが突然に回転して、事故や重傷を負う原因となります。



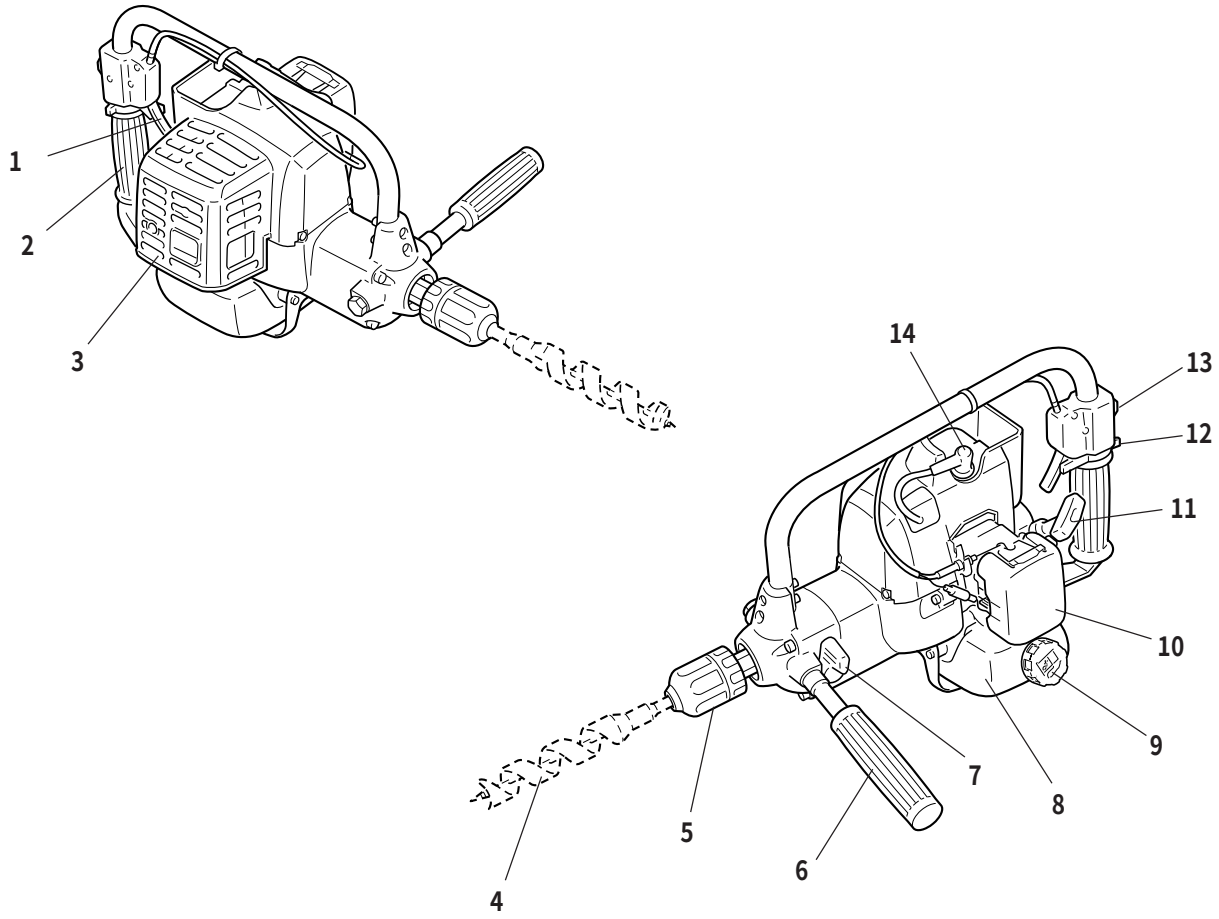
１．梱包部品一覧

・梱包箱の中には、下記部品が分かれて梱包されています。
・梱包箱を解きましたら、中の部品を確認してください。
・欠品や破損などがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。



番　号	部　品　名　称	個　数	番　号	部　品　名　称	個　数
(1)	製品本体	1	(6)	スパナ（17 × 19）	1
(2)	ワッシャ	1	(7)	ソケットレンチ（10 × 19）	1
(3)	フロントハンドル	1	(8)	取扱説明書	1
(4)	ビットアダプタ	1	(9)	保証書	1
(5)	バーツール	1			

２．各部の名称と機能



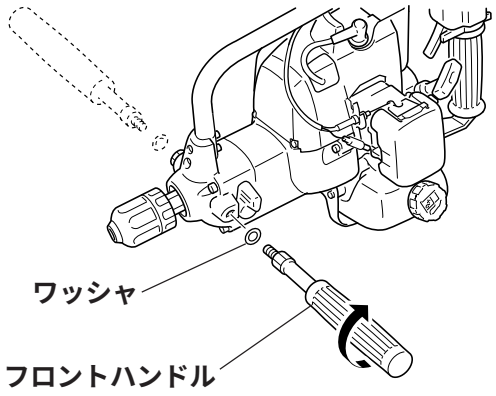
1	スロットルレバー	エンジン回転数を調節します。
2	リヤハンドル	エンジン本体の後方にあるハンドルです。
3	エンジンカバー	エンジンをカバーし、作業者が不用意に熱いシリンダやマフラに触れるのを防ぎます。
4	ビット	穴をあける工具です。（別売品）
5	チャック	ビットを組み付け固定する装置です。
6	フロントハンドル	エンジン本体の前方にあるハンドルです。
7	回転レバー	ビットの回転方向を変更するレバーです。
8	燃料タンク	燃料を入れる容器です。
9	燃料タンクキャップ	燃料タンクを密閉するふたです。
10	エアクリーナカバー	エアフィルタを防護するカバーです。
11	スタータグリップ	エンジンを始動するときに使用します。
12	スロットルロックアウト	スロットルレバーを誤って引かないように、スロットルロックアウトを押さなければ、スロットルレバーは引けないようになっています。
13	ストップスイッチ	エンジンを運転・停止させるためのスイッチです。
14	スパークプラグ	エンジンの頭部に組み付けられ、燃料に点火するものです。

３．作業前の準備

３－１組み立て

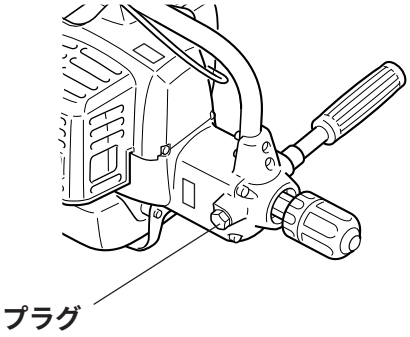
⚠ 警　告

取扱説明書をよく読んで、正しく組み立ててください。
☆誤って組み立てた製品を使用すると、事故や重傷を負う原因となります。



1．製品本体とフロントハンドルにワッシャをはさみ、時計方向に回してしっかり締め付けてください。

※ ハンドルは左右どちらにも取り付けられます。



2．プラグを外し、フロントハンドルを組み付けてください。外したプラグは反対側の組み付け穴に取り付けてください。

３－２ビットの取り付け

⚠ 警　告

- **ビットの取り付けや交換をするときは次のことを守ってください。**
  - **厚手の手袋を着用すること**
  - **エンジンを停止して、ビットの回転が止まっていること**
  - **ストップスイッチが停止位置であること**
  - **燃料タンクキャップがしっかり締まっていること**
- **チャックが摩耗したときは、新品と交換してください。**
- **ビットに振れや緩みがあるまま使用しないでください。**

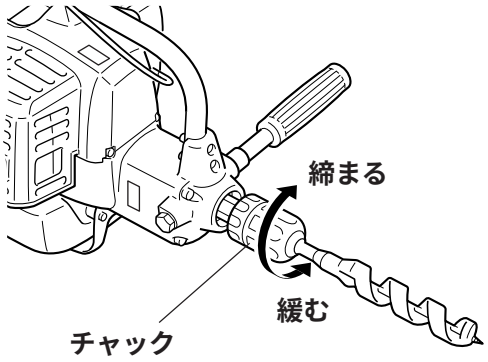
☆事故や重傷を負う原因となります。

重　要

穴の深さと大きさに合ったビットを使用してください。

３．作業前の準備

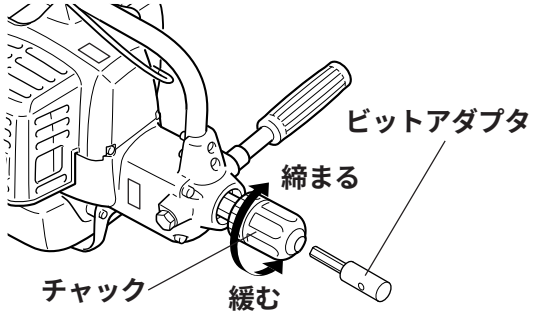
３-２ビットの取り付け（続き）



市販の木工用ビット（φ13 ㎜まで）を取り付ける場合

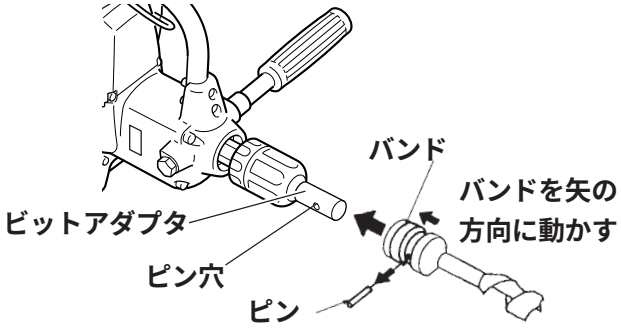
1．チャックの根元を持ち、チャックを反時計方向に回して緩め、ビットを挿入してください。

2．チャックの根元を持ち、チャックを時計方向に回し、しっかり締め付けてください。

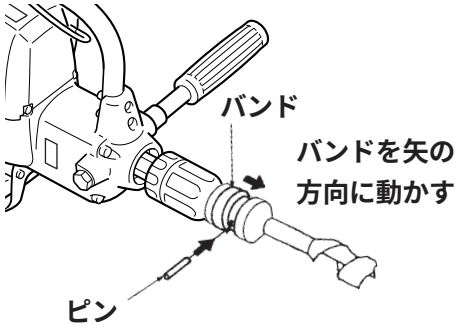


土、氷穴あけ用ビットBA025-750、BA030-750、BA040-750（別売品）を取り付ける場合

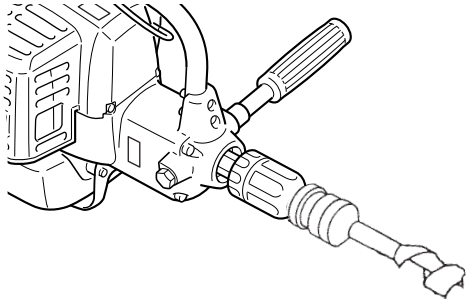
1．チャックの根元を持ち、チャックを反時計方向に回して緩め、付属のビットアダプタを挿入し、アダプタが外れないよう、しっかり締め付けてください。



2．ビットアダプタのピン穴とビットのピン穴を合わせてから、ピンを差し込んでください。



3．バンドを矢の方向に動かし、ピン穴にふたをしてください。



4．作業時は必ずピン穴にふたをするようにして、ピンが抜け落ちないように注意してください。

３．作業前の準備

３－３ 燃料の準備

⚠ 危　険

燃料は非常に引火しやすいので、取り扱いを誤ると火災の危険があります。
本書の「安全にご使用いただくために」（５ページ）記載の「注意事項」をよく読み、必ず守ってください。
☆燃料に引火して、火傷や火災を起こすことになります。



⚠ 警　告

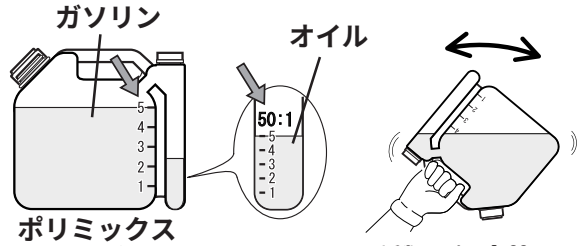
- **燃料を補給する際は手動式の燃料補給ポンプを使用し、機体が安定した状態で給油口からこぼさないように注意して補給してください。（電池式の灯油ポンプは使用しないでください）**
  製品に燃料が少しでもこぼれたら、必ず拭き取ってください。
- **燃料を補給する際は静電気の火花放電を避けるため、補給前に製品および補給用タンクを地面に数分間置くなどして、帯電している静電気をアースしてください。**
  また、作業者自身も手のひらを地面や金属に接するなどしてアースしてください。
- **燃料を補給した後は燃料タンクキャップを確実に締め付け、必ず燃料パイプ、燃料系グロメット、燃料タンクキャップ周辺から燃料の漏れ、にじみがないことを確認してください。燃料の漏れ、にじみがある場合は直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。**

☆燃料に引火して、火傷や火災を起こす原因となります。

重　要

混合燃料は劣化しやすいので、使用する分量だけ混合してください。 燃料の混合は、製品の燃料タンクで行なわないで、ポリミックス（別売品）を使用して、よく混合してください。

■ 燃料



２サイクルエンジンオイルの種類と混合比

ガソリン(L)	２サイクルエンジンオイル(mL)
2	40
4	80
5	100

・燃料はレギュラーガソリン**(アルコール混入燃料はゴム製部品の劣化を早めます)**と、２サイクルエンジンオイルを混合した「混合燃料」です。
・やまびこ純正２サイクル専用オイルか、ＪＡＳＯ性能分類ＦＣ またはＦＤ グレードのオイルを50:1 の比率でよく混合してください。

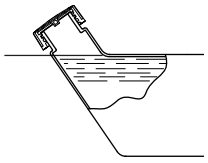
※ 指定以外のオイルや混合比は、エンジン不調の原因となります。

３．作業前の準備

３-３燃料の準備（続き）

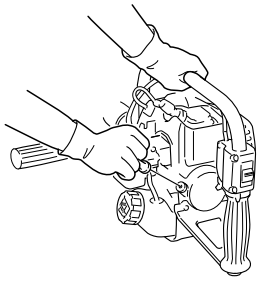
■ 燃料補給

規定レベル：
燃料タンクの肩口





3 ｍ以上



・燃料の補給作業は、必ず風通しの良い所で行なってください。

・燃料の補給作業は、製品と補給用タンクを地面に置いて行なってください。
トラックの荷台の上などでは行なわないでください。

・燃料は必ず燃料タンクの肩口以下に補給してください。

・燃料タンクには、外気との間に圧力差が生じています。
燃料を補給するときは、燃料タンクキャップをすこし緩めて、圧力差を取り除いてください。

・燃料タンクのキャップを開け、手動式の燃料補給ポンプなどでこぼさないように混合燃料を入れてください。
（電池式の灯油ポンプは使用しないでください）

・燃料が少しでもこぼれたら、必ず拭き取ってください。
ただし湿度が低いときは、乾いた布で拭くと静電気を帯びやすいので、水を湿らせた布で拭き取るようにしてください。

・エンジンを始動する前に、燃料を補給した場所から3 ｍ以上移動してください。

・補給用タンクは火気のない日陰に置いてください。

4．エンジンの運転

4 - 1 エンジンの始動

⚠ 警　告

エンジンを始動する場合は、本書の「安全にご使用いただくために」（3～10ページ）記載の「注意事項」を守って正しく操作してください。

☆「注意事項」を守らないと、死亡を含む傷害や事故を起こす原因となります。

⚠ 注　意

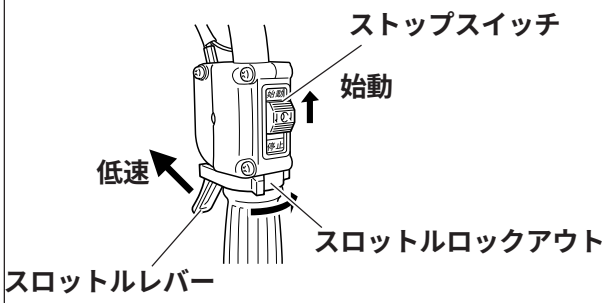
エンジンの始動時、スロットルレバーを低速の位置にしておいても、ビットが回転する場合にはキャブレタを調整してください。（24ページの「キャブレタの調整」を参照）

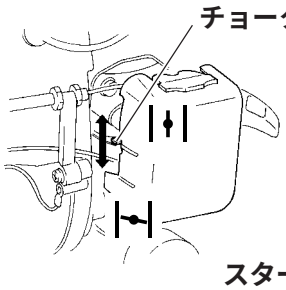
☆回転するビットでケガをする恐れがあります。

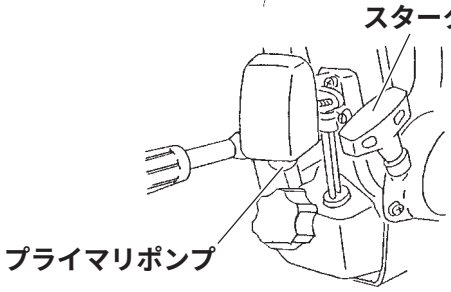
重　要

- スタータグリップを引くときは、まず軽く引出し更に素早く引いてください。引きヒモの2/3以上は引出さないでください。
- スタータグリップを戻すときは、途中で手から離さないでください。
- アイドリング（低速運転）に戻さずにチョークストップなどでエンジンを停止すると、故障する恐れがあります。緊急時以外は必ずアイドリング（低速運転）状態にして停止してください。
- エンジン始動操作のときに 最初の爆発音が聞こえたら､チョークレバーを戻して再度スタータグリップを引くと始動します｡最初の爆発音を聞き逃さないようにしてください。

■冷えたエンジンの始動







（長期保管の後は、スパークプラグキャップを接続してください。）

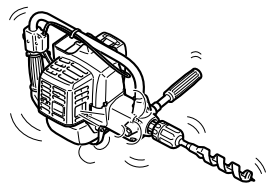
エンジンの始動には、冷えたエンジンの場合と暖まっているエンジンの場合があります。冷えたエンジンの始動は次のようにしてください。

1. ビットを点検してください｡異常がある場合は新品に交換してください。
2. 製品を平坦な地面に置き､枕木などをしてビットが地表や他の障害物に触れていないことを確認してください。
3. 燃料が漏れていないことを確認してください。
4. ストップスイッチを始動の位置にしてください。
5. スロットルレバーを低速の位置にしてください。
6. チョークレバーを ⊢ マークの位置にしてください。
7. プライマリポンプ内に燃料が吸い上がるまで、プライマリポンプを押す･離すの操作をくり返してください。（目安5～10回）
8. 周囲の安全を確認して､図のように製品をしっかり押え､スタータグリップを数回引いてください。
9. 爆発音がし、すぐに止まった場合は、チョークレバーを ⊢ マークに戻して､更にスタータグリップを引き始動させてください。
10. 上記8.の操作ですぐにエンジンが始動したら、チョークレバーを徐々に ⊢ マークに戻してください。
11. エンジンの回転数を上げるときはスロットルロックアウトを回し､スロットルレバーを握ってください。

4．エンジンの運転

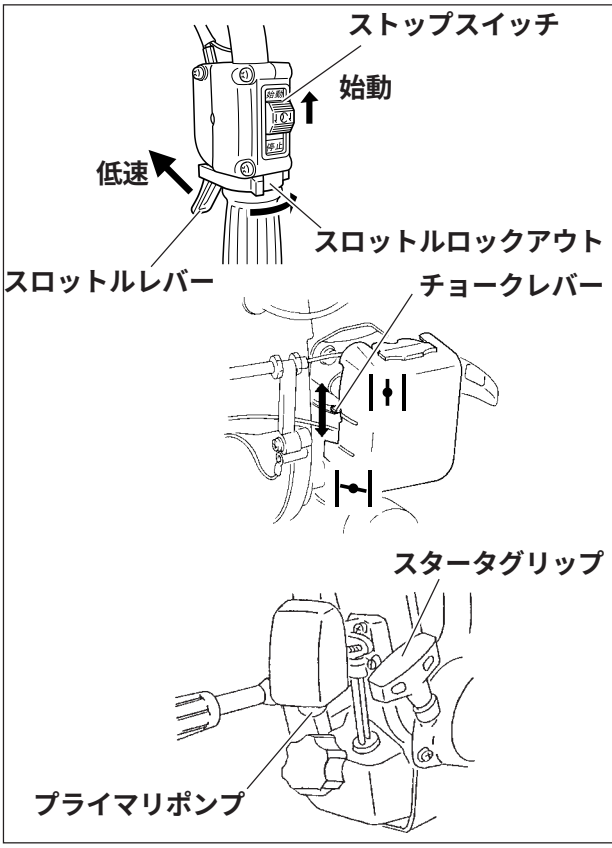
4 - 1 エンジンの始動 （続き）

■エンジンの暖機運転



1. エンジンが始動したら、2～3分間、アイドリング（低速運転）で暖機運転を行なってください。
2. 暖機運転は、エンジン内部の潤滑を円滑にします。特に冷えているときは、十分に行なってください。
3. ビットを取り付けない状態での運転は絶対に行なわないでください。

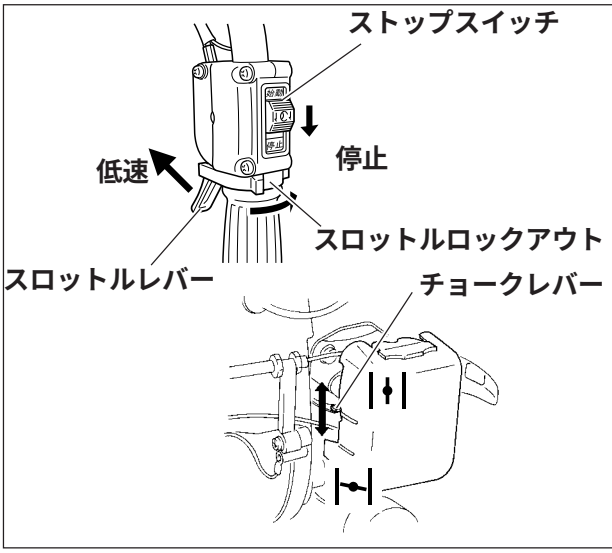
■暖まっているエンジンの始動



1. ストップスイッチを始動の位置にしてください。
2. スロットルレバーを低速の位置にしてください。
3. チョークレバーが ⊢| マークの位置にあることを確認してください。
4. スタータグリップを引いてエンジンを始動させてください。
5. エンジンの回転数を上げるときはスロットルロックアウトを回し、スロットルレバーを握ってください。

4 - 2 エンジンの停止

■エンジンの停止



1. スロットルレバーを低速の位置にし、エンジンをアイドリング（低速運転）状態にしてください。
2. ストップスイッチを停止位置にしてください。
3. 緊急の場合は、直ちにストップスイッチでエンジンを停止してください。
4. エンジンが停止しないときは、チョークレバーを⊢| マークの位置にしてください。エンジンは失速し停止します。（チョークストップ；応急停止）

※ ストップスイッチでエンジンが停止しなかった場合は、製品を再び使用する前に、お買い求めの販売店にストップスイッチの点検と修理を依頼してください。

５．穴あけ作業

５－１ 作業の基本

⚠ 警　告

穴あけ作業では次のことを守ってください。

- **石や金属、コンクリートなどの硬い障害物に、ビットを接触させない。**
- **ビットが障害物に当たった場合、直ちにエンジンを停止し、ビットが止まったことを確認してから、ビットの損傷を点検する。**
- **欠けたり摩耗したビットは使用しない。**
- **ビットやビットアダプタが緩んでいないか確認する。**
- **チャックが摩耗している場合は交換する。**

☆事故や重傷を負う原因となります。

⚠ 注　意

- **ビットが深い穴でロックした場合､回転レバーを反時計回りの位置にセットし､ビットを逆回転させ、静かに引き抜いてください。**
- **ビットを交換するときは、必ずエンジンを停止してください。**

☆回転するビットでケガをする恐れがあります。

- **仕事が終った後のエンジン本体・ギヤケース・マフラなどは高温になっています。手や身体を触れないように注意してください。**

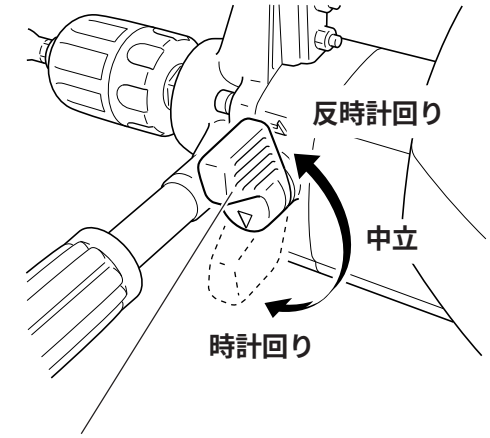
☆火傷を負う恐れがあります。

■穴あけ作業

- 製品を中心に半径 15 ｍの範囲は危険区域です。この区域に子供や見物人、ペットがいないことを確認してください。
  誰かが 15 ｍ以内に近づいてきたら、直ちにエンジンを停止し、ビットの回転を止めてください。
- 作業を補助する人､共同作業をする人もお互いに合図のしかたを決めて､15 ｍ以上離れて作業してください。連絡用に、呼子（笛）を携帯することをおすすめします。
- 製品が突然異常な振動をしたら、直ちにエンジンを停止してください。
  突然の振動は、フライホイール、クラッチ、ビットなどの故障や、ネジの緩みなどが原因です。
  故障の原因がわかり、修理が終わるまで製品を使用しないでください。
- ビットを確実に締め付けないと、脱落することがありますので、確実に締め付けてください。
- 製品を持ち運ぶときは、必ずエンジンを停止し、ビットを外してください。
- 穴あけ作業を始めるときは高速回転（スロットル全開）で作業してください。
- 穴あけ作業中はビットを押し付けないで、ビットの自然な穴あけ速度で作業してください。
- ビットは注意して取り扱ってください。ビットに触れて思わぬケガをすることがあります。
- 両手でしっかりとハンドルを握って作業してください。

５．穴あけ作業

５－２ 回転レバー



この製品は逆回転機構を備えています。

・穴をあけるときは回転レバーを時計回りの位置にセットしてください。

・ビットが深い穴でロックした場合、回転レバーを反時計回りの位置にセットし、ビットを逆回転させ、静かに引き抜いてください。

・回転方向を変更する場合、以下のように操作してください。

1. スロットルレバーを離して、エンジンをアイドル状態にしてください。
2. ビットの回転が止まるのを確認してください。
3. 回転レバーを時計回りまたは反時計回りの位置に確実にセットしてください。

※ビット回転中に回転レバーを操作しないでください。

※回転レバーが時計、反時計回りの位置にセットできないときは中立の位置でスロットルレバーを少し引き、再度回転レバーを操作してください。時計、反時計回りの位置にセットできるまでこれを繰り返してください。

6．点検・整備

⚠ 警　告

製品の点検・整備をするときは、エンジンを停止し、エンジンが冷えてからスパークプラグキャップを外してください。

☆火傷や、突然の始動により事故の原因となります。

6 - 1 点検・整備の目安

・お買い求め頂いた製品を調子よく安全にご使用いただくために､定期的に点検･整備を行なってください。

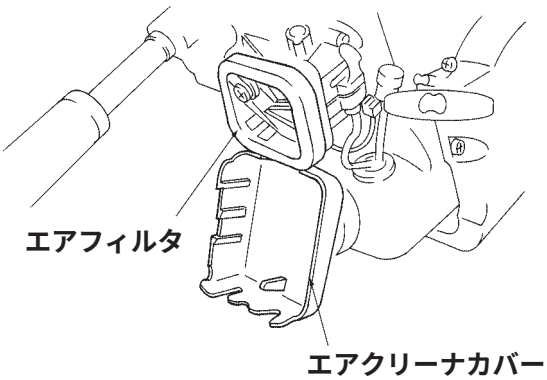
点検・整備項目	作業前または作業後	作業 25 時間毎	作業 100 時間毎	参照ページ
燃料パイプ、燃料系グロメット	○		●	22
燃料タンクキャップ	○		●	22
ビットの緩み、摩耗､損傷点検	○			22
エアフィルタ	○		●	21
スパークプラグ		○	●	24
ギヤケース	○			22
燃料フィルタ		○	●	24
燃料タンクの清掃		○		24
燃料の残量、劣化	○			24
キャブレタの調整		○		24
冷却風通路、シリンダフィンの清掃		○		25
マフラ		○		25
ボルト､ナット	○			-
エンジン各部の増し締め			●	-
クラッチ			●	-

○：ご自分で点検・整備してください。

●：製品の性能維持のために販売店に定期的な交換を依頼してください。

6 - 2 作業前または作業後の点検

■エアフィルタの清掃

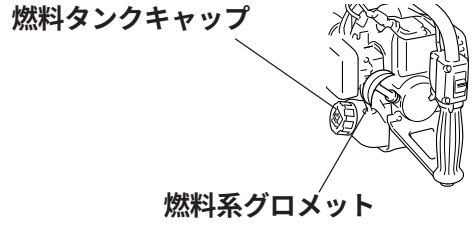


1. **チョークレバーを ⊢ マークの位置にしてから、エアクリーナカバーを外してください。**
2. **エアフィルタを外してください。**
3. **汚れをブラシで落とすか､中性洗剤で洗ってください。洗剤を使用したときは、十分に水洗いをし、よく乾かしてください。**
4. **エアフィルタを元の位置に取り付けてください。**
5. **カバーを取り付けてください。**

6．点検・整備

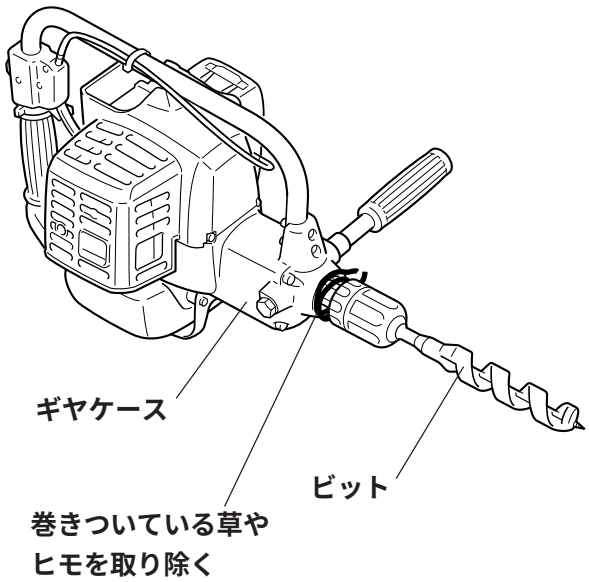
6 - 2 作業前または作業後の点検（続き）

■燃料系統の点検



1．ご使用前に燃料を補給した後、燃料タンクキャップを確実に締め付け、燃料パイプ、燃料系グロメット、燃料タンクキャップ周辺から燃料の漏れ、にじみがないことを確認してください。
2．燃料の漏れ、にじみがある場合は、火災の原因となりますので、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

■ビット・ギヤケースの点検



(1) ビットの点検

1．ビットやビットアダプタが緩んでいないことを確認してください。
2．ビットを硬いものに当てた場合は直ちに割れや欠けなどがないかを点検してください。
3．作業後など定期的にビットに割れや欠けなどがないかを点検してください。
4．異常がある場合はそのまま使用せずに、新品と交換してください。
5．ビットが摩耗した場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

(2) ギヤケースの点検

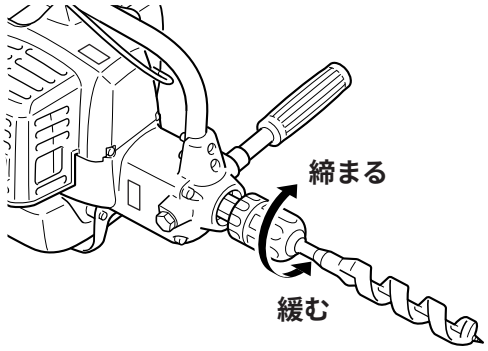
1．ギヤケースとビットの間に草などが巻きついていないかを点検してください。草などが巻きついている場合は、ビットを外して清掃してください。
2．50時間使用毎または年に一度は、お買い求めの販売店で注油を依頼してください。

6．点検・整備

6 - 3 ビットの交換

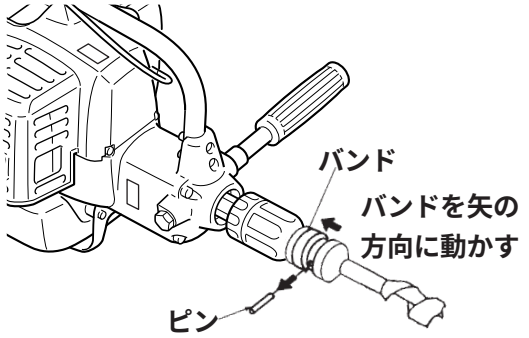
⚠ 注　意

連続運転直後は、ギヤケースが熱くなっていることがあるので、注意してください。
☆火傷の恐れがあります。



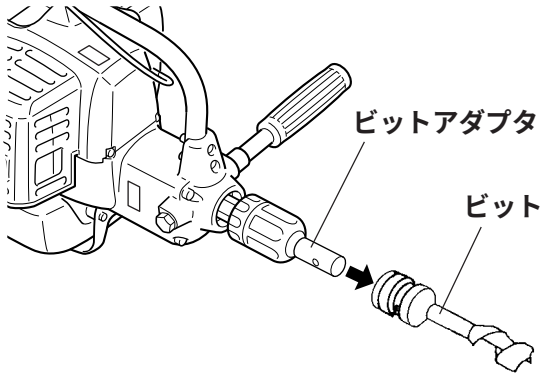
市販の木工用ビット（φ13 ㎜まで）を取り外す場合

1. **チャックの根元を持ち、チャックを反時計方向に回して緩め、ビットを取り外してください。**
2. **チャック内側のゴミを取り除いてください。**
3. **ビットの取り付け手順と注意事項は、13～14ページ「ビットの取り付け」を参照してください。**

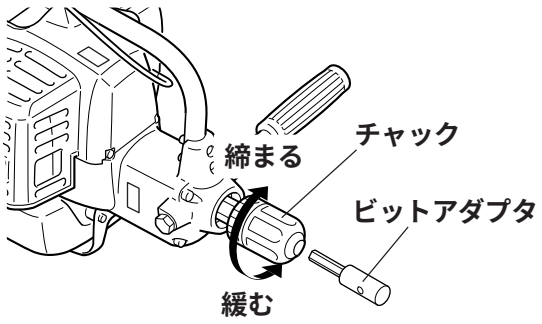


土、氷穴あけ用ビットBA025-750、BA030-750、BA040-750（別売品）を取り外す場合

1. **バンドを矢の方向に動かし、ピン穴からピンを取り出してください。**



2. **ビットアダプタからビットを取り出してください。**

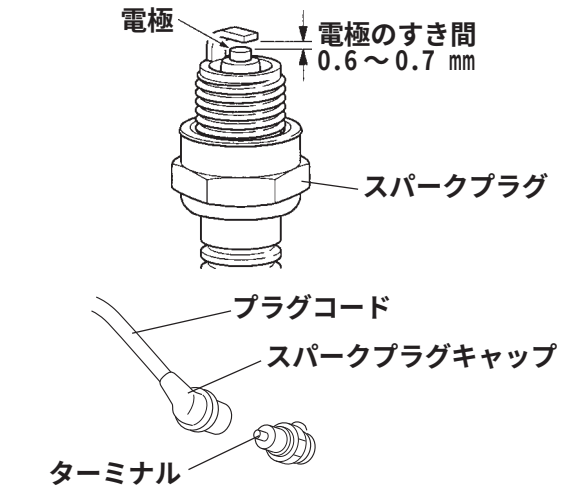


3. **チャックの根元を持ち、チャックを反時計方向に回して緩め、ビットアダプタを取り外してください。**
4. **チャック内側のゴミを取り除いてください。**
5. **ビットの取り付け手順と注意事項は、13～14ページ「ビットの取り付け」を参照してください。**

6．点検・整備

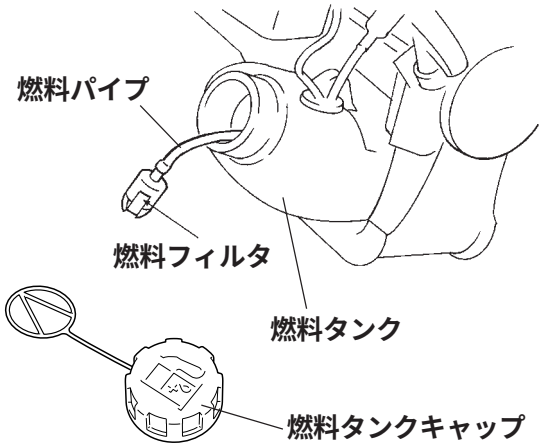
6 - 4 25時間毎点検

■スパークプラグの点検



1．付属のソケットレンチ（19 ㎜）でスパークプラグを外してください。
2．電極やターミナルが摩耗しているとき、すき間が規定寸法（0.6～0.7 ㎜)でないとき、また電極の周囲にオイルや堆積物が付いているときは、新品と交換してください。
3．スパークプラグは、付属のソケットレンチでしっかり締め付けてください。
参考：締め付けトルクは15～17 N・m
(150～170 kgf・cm)です。
4．スパークプラグキャップの接続に異常がないか、プラグコードやスパークプラグキャップにヒビ割れ、ピンホールなどがないかを点検してください。

■燃料タンク、燃料フィルタの清掃

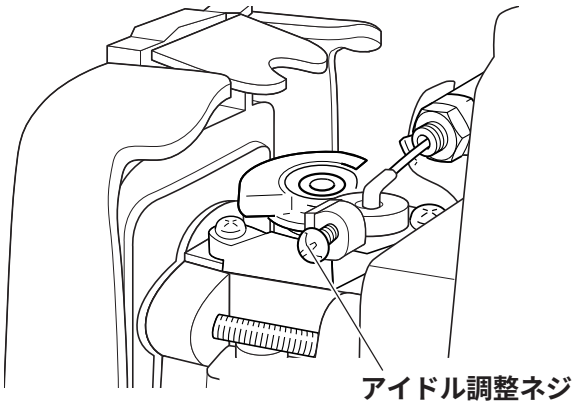


1．燃料タンクキャップを外してください。
2．針金などを使用して、燃料パイプに傷をつけないように燃料フィルタを燃料タンクの給油口から取り出してください。
3．燃料が劣化していたり、水分やゴミが混入している場合には、燃料を交換してください。
4．上記3.の場合にはタンク内や燃料フィルタ、燃料パイプも洗浄してください。
5．燃料フィルタ部分が黒く硬くなっている場合は汚れていますので交換してください。
6．燃料フィルタが燃料タンクの底面に届いていることを確認してください。
7．点検・交換後は、燃料タンクキャップを確実に締め付けてください。

■キャブレタの調整

重　要

・工場出荷時にキャブレタはエンジンの性能を最も良く引出せるように設定されていますが、次のような場合にはキャブレタの異常も考えられるので、キャブレタの調整をしてください。
1)エンジンが始動しない。
2)エンジンが停止する。
3)アイドリング（低速運転）時もビットが回っている。
・アイドル調整ネジは締めすぎないでください。強く締めすぎるとキャブレタを破損します。



キャブレタの調整を行なう前に、エアクリーナの清掃／交換を行ない、エンジンを数分間運転してください。

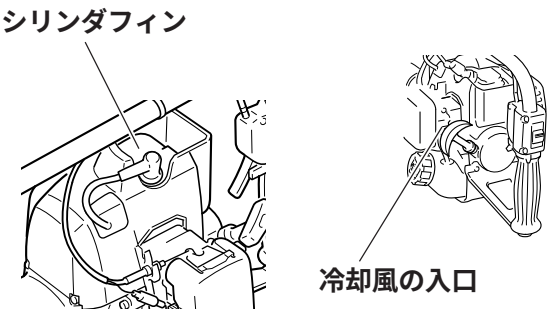
アイドル調整ネジ

1．アイドリング（低速運転)の回転数を調整するときは、キャブレタ本体のアイドル調整ネジを回して調整してください。
2．アイドル調整ネジを右に回して、ビットが回りはじめるところから左へ1 1/2～2回転程度戻してください。
※　調整してもエンジン回転不調の場合は、お買い求めの販売店へご相談ください。

6．点検・整備

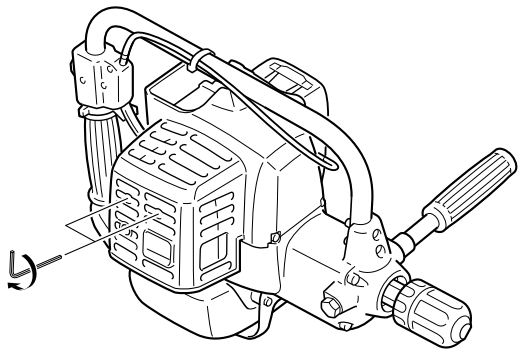
6 - 4 25時間毎点検（続き）

■冷却風入口の清掃



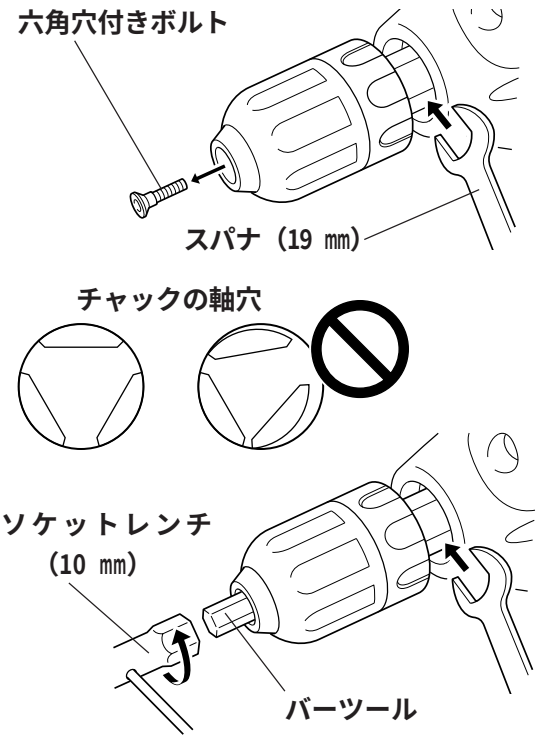
1．シリンダフィンの間のゴミと汚れを取り除いてください。
2．エンジンの底部と燃料タンクの間にある冷却風の入口の周りに付いた、ゴミなどを取り除いてください。

■ マフラの点検



・マフラの締め付けボルトに緩みがないか確認してください。緩みがある場合は、六角レンチで増し締めをしてください。
・マフラがカーボンなどで汚れている場合には、清掃してください。

6 - 5 チャックの交換



摩耗したチャックは以下の手順で交換してください。

1．付属のスパナ（19 ㎜）を軸に合わせてください。
2．チャックを反時計方向に回していっぱい緩め、六角穴付きボルトを反時計方向に回して取り出してください。
※ このときチャックの軸穴は六角形を保ったままにしてください。
3．バーツールをチャックに挿入してください。
4．ソケットレンチ（10 ㎜）をバーツールに合わせ反時計方向に回し、チャックを取り外してください。
5．新しいチャックを取り付け、取り外した方法と逆に取り付けてください。

6．点検・整備

6 - 6 故障診断表

故障内容	故障診断	原因	対策
エンジンが始動しない		燃料が入っていない ストップスイッチが停止位置 燃料の吸込みすぎ 電気的障害 キャブレタ不良、内部固着 エンジン内部の故障	燃料補給 始動位置にする 整備後に始動操作 販売店へ依頼 販売店へ依頼 販売店へ依頼
エンジンが始動しにくい また回転が変動する	プライマリポンプ内に燃料が吸い上がる	燃料の変質 キャブレタ不良	新しい燃料に交換 販売店へ依頼
	プライマリポンプ内に燃料が吸い上がらない	燃料フィルタの目詰まり 燃料系統の目詰まり キャブレタ内部の固着	清掃か交換 販売店へ依頼 販売店へ依頼
	スパークプラグが汚れている、または濡れている	燃料の変質 電極の隙間が正しくない カーボンが付着している 電気的障害	新しい燃料に交換 交換 交換 販売店へ依頼
エンジンは始動するが加速できない		エアフィルタの汚れ 燃料フィルタの汚れ 燃料通路の詰まり キャブレタ調整不良 排気口・マフラ出口が詰まっている	清掃か交換 清掃か交換 販売店へ依頼 調整 清掃
エンジンが停止する		キャブレタ調整不良 電気的障害	調整 販売店へ依頼
エンジンが停止しない		ストップスイッチ不良	応急停止後、販売店へ
アイドリング状態でビットが回転する		キャブレタ調整不良 クラッチバネ破損	調整 販売店へ依頼
穴あけ能率の低下		ビットの摩耗 クラッチのすべり	販売店へ依頼 販売店へ依頼

・点検・整備には専門的な知識が必要です。ご自分で点検・整備や故障対策ができない場合は、むやみに製品を分解しないで、お買い求めの販売店にご相談ください。
・表中に記載されていない故障の場合など、ご不明の点はお買い求めの販売店にご相談ください。
・補用品や消耗品は、必ず純正部品または指定品を使用してください。他社部品あるいは指定品以外の部品を使用すると、故障の原因となる場合があります。

6 - 7 長期保管(30 日以上)

⚠ 警　告

燃料ガスが充満している密閉された場所や、裸火、火花のあるそばに保管しないこと。
☆火災の原因となります。

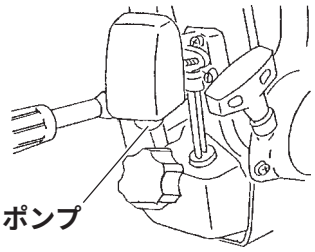


重　要

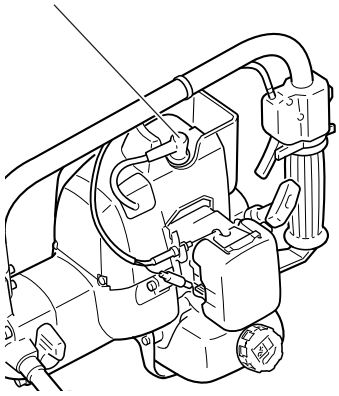
この取扱説明書は、いつでも読めるよう保管してください。

取扱
説明書

製品を長期間（30 日以上）にわたって保管する場合は、以下に示す保管の際の整備を必ず実施してください。







1．ビットを取り外してください。
2．燃料タンク内の燃料を抜き取ってください。
3．プライマリポンプを押す･離すの操作を数回くり返して、プライマリポンプの燃料を抜き取ってください。
4．エンジンを始動し、自然に停止するまで低速で運転してください。
5．ストップスイッチを停止位置にしてください。
6．製品が十分に冷えてから、製品の外側に付いたグリース、オイル、ホコリ、ゴミなどをきれいに拭き取ってください。
7．本書に定められた定期的な点検をしてください。
8．スクリュ、ナット類が締まっているか確認してください。緩んでいる場合は、増し締めしてください。
9．スパークプラグを外し、その取り付け穴から適量（10 mL程度）の、新しくきれいな２サイクルエンジンオイルをシリンダに入れてください。
10．スパークプラグの取り付け穴の上にきれいな布を掛けてください。
11．スタータグリップを数回引いて、エンジンオイルをシリンダ内に行き渡らせてください。
12．スパークプラグを取り付けてください。
（スパークプラグキャップは接続しないでください）
13．エンジン部をビニール袋などに包み、子供の手の届かないホコリの少ない乾燥した場所に保管してください。

●製品や部品を廃棄するときは、販売店にご相談するか、自治体の指導に従ってください。

7．仕様

項目	単位	型 式 名 EDR240
質量 燃料、ビット除く	 kg	 4.7
容量 燃料タンク	 L	 0.45
ギヤケース 歯車減速比 潤滑剤		 減速比（時計回り） 17.1 減速比（反時計回り） 18.6 純正ギヤケースグリース
外形寸法（ビット除く） 長さ×幅×高さ	 mm	 420 × 320 × 255
エンジン 排気量 最大出力時エンジン回転数 最大エンジン回転数 アイドリング回転数 キャブレタ形式 点火方式 スパークプラグ 始動方式 動力伝達方式	 mL r/min r/min r/min	空冷２サイクル単シリンダ 23.6 7,500 9,000 2,900 ダイヤフラム式 フライホイールマグネト電子点火方式 NGK BPMR7A リコイルスタータ 自動遠心クラッチ
燃料混合比		[レギュラーガソリン：２サイクルエンジンオイル] ＝ [50:1] やまびこ純正２サイクル専用オイルか、ＪＡＳＯ 性能分類ＦＣまたはＦＤ

別売品

純正アースオーガビット（土、氷穴あけ用）

製品形式	サイズ
BA025-750	φ 25 ㎜、長さ 750 ㎜
BA030-750	φ 30 ㎜、長さ 750 ㎜
BA040-750	φ 40 ㎜、長さ 750 ㎜

木工用ビットは市販品（φ 13 ㎜ まで）をご購入ください。

＊ この仕様は予告なしに変更することがあります。

メ　モ

メ　モ

メ　モ

株式会社やまびこ

〒198-8760 東京都青梅市末広町 1-7-2　Tel 0428-32-6181

やまびこ北海道株式会社
〒004-0041　北海道札幌市厚別区大谷地東 1-2-20　Tel 011-891-2249（代）

やまびこ東北株式会社
〒984-0002　宮城県仙台市若林区卸町東 5-1-50　Tel 022-288-0511（代）

やまびこ東部株式会社
〒198-0025　東京都青梅市末広町 1-7-2　Tel 0428-32-1091（代）

やまびこ中部株式会社
〒452-0031　愛知県清須市西枇杷島町宮前 1-39　Tel 052-502-4111（代）

やまびこ西部株式会社
〒701-0221　岡山県岡山市南区藤田566-159　Tel 086-296-5911（代）

やまびこ九州株式会社
〒816-0943　福岡県大野城市白木原 5-3-7　Tel 092-573-5361（代）

やまびこ産業機械株式会社
〒731-3167　広島市安佐南区大塚西6-2-11　Tel 082-849-2005（代）

ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

X750-020180
X750409-4300　1110n ES

© 2011 株式会社やまびこ　著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。